腹腔鏡下腹壁ヘルニア手術クリニカルパス

様

	手術前日（入院） ／	手術当日 ／	術後１日目 ／	術後２日目 ／	術後３日目 ／	術後４日目 ／	術後5日目／ 退院
観察		手術後、熱・脈・血圧を定期的に測定します 呼吸や吐き気の有無を観察します 手術後創部の観察を行います	看護師が体温・血圧などを定期的に観察します 				
安静	制限はありません	手術後６時間ははベッド上で過ごします 手術６時間後からトイレ歩行できます	制限はありません 				
食事	夕食は消化の良い食事を食べます 21時以降より絶食となります 	手術予定3時間前まで飲水できます  手術3時間後から飲水できます	朝食より普通食が始まります 				
清潔	入浴またはシャワーに入れます 爪の長い人は爪を切ります		体を拭くことができます  看護師が傷を観察します	背中の管を抜去後、シャワーに入ることができます 			
排泄		6時間後にトイレに行けます それまでは尿器を使用します 					
診察 処置	へそをきれいにします	手術後、病棟に戻り回復室に入ります 心電図モニターや、必要時には酸素を使用します	創部の観察を行います				
検査	手術に必要な追加の検査をすることがあります	必要に応じて検査を行います					
薬物療法	下剤をのみます 	手術室で点滴を入れます（手術が午後の場合は朝から点滴を行います） 手術時、背中に管を入れ,そこから痛み止めの薬を入れます その薬だけでは不十分な場合は他の鎮痛剤を使いますので、看護師に伝えてください	痛み止めを飲みます 	点滴を終了します 背中の管を抜きます			
説明	入院中の注意点・手術に関する説明などを看護師が行います	手術後、医師よりご家族へ電話で説明があります 					退院後の注意点について説明します 
指導	今後の治療計画についての説明書を手渡します		薬剤師から薬の説明があります 				
目標	手術の目的・麻酔・術後の経過などがわかる 不安・疑問などを伝えられる	痛み、吐き気、不安、疑問を医療者に伝えられ、苦痛を最小限に抑えることができる					退院後の生活がイメージでき、不安や疑問を医療者に伝えることができる

・わからないことがあれば、遠慮なくお尋ねください。
・症状・状態に応じて予定通りにならないことがあります。その場合は、その都度説明します。

2018 年12月作成（2026年4月改訂） パス委員会承認 聖隷浜松病院A5病棟